

矢沢たけひこ

まっすぐ
安曇野に全力！

《矢沢たけひこ後援会》

〒399-8205 長野県安曇野市豊科5184-4

携帯 090-9357-0802

Eメール takehikoyazawa0802@yahoo.co.jp

日々の活動や議会報告を
FacebookやYoutubeでお知らせ
しています。下のQRコードまた
は検索してご覧ください。



活動報告レポート 2024年第2号

矢沢たけひこ

検索



市役所におけるカスハラ問題－安心して市民向き合うために対策を！

いつもお世話になっております。安曇野市議会議員の矢沢たけひこです。今年はまさに酷暑ですね。皆さま、どうか無理なくご安全にお過ごしください。

令和6年6月議会では、**安全・安心**ということを中心軸に一般質問をいたしました。

一般質問
の項目

カスハラ対策 / ピンクシャツデーへの参加 / マタニティタクシー事業の助成 / 市民に身近な公共・公的施設 / 安心安全なまちづくり(新田中交差点、県道495号線、踏切について)
→詳細は裏面へ



視察報告 (千葉県市原市)



消防隊員が現場に近づけないような特殊な災害が発生した場合における災害の拡大抑制を行う実戦配備型の消防ロボットシステム「スクラムフォース」が日本で唯一、千葉県市原市消防局に配備されており、視察に伺いました。

ロボットが合体しないのは残念でしたが、これに限らず消防の特殊車両には何かと課題も多いわけですが、四位一体として4機のロボットが協力し、活動できる様は、近未来の災害現場にも思わせるものでした。



女性差別撤廃へ。選択議定書への速やかな批准を求める陳情が市議会で採択

「女子差別撤廃条約」は、「男女の完全な平等の達成に貢献することを目的として、女子に対するあらゆる差別を撤廃すること」を基本理念としています。1979年に国連で採択、1981年に発効、日本は1985年に批准しています。ただ、日本は選択議定書にまだ批准しておらず、個人通報制度など実効性を担保する制度がありません。矢沢は、男性だから、女性だからではなく、その人らしく生きられる真のジェンダー平等を目指す立場から賛成討論に立ちました。



【矢沢たけひこ プロフィール】

- 1985年(昭和60年)8月2日、安曇野市豊科生まれ。同地在住。
- 細萱保育園、豊科北小、豊科北中、松本筑摩高(昼間定時制)、中京学院大学経営学部、中央大学大学院(公共政策研究科)を経て、都議会議員秘書。
- 地元郵便局や民間勤務を経て、令和3年10月に安曇野市議会議員初当選。
- 安曇野市消防団第2分団所属(10年目)

◆市議会での役職◆(令和5年9月以降)

【常任委員会】 福祉教育委員会

【特別委員会等】 議会広報特別委員会 副委員長、議会改革推進委員会、議会ICT研究会 会長

【一部事務組合議会等】 安曇野松筑広域環境施設組合議会、安曇野・松本行政事務組合議会、松本広域連合議会

好きな食べ物/ラーメン、そば、から揚げ、妻の手料理 趣味/写真撮影、ドライブ
特技/麺類を食べるときに美味しそうな音を出すこと 家族/妻、95歳の祖母、父、母、妹



令和6年6月議会 矢沢たけひこの 一般質問をご紹介します



質問や答弁の詳細は
議会中継からご覧に
なれます。



1

カスハラ対策-職員が安心して市民に向き合える職場へ

様々な職場で、カスハラ（カスタマーハラスメント）が問題になっています。市民と接することの多い自治体でも例外ではなく、約46%が過去3年間に経験したという調査もあります。職員が安心して市民と向き合っていくためには、市としても対策が必要であると指摘し、市職員の名札の表記の仕方の変更等を提案しました。

市からは、令和6年7月から名字のみに変更、顔写真をなくすなど対応すると答弁がありました。また、市長からも市民からの苦情は真摯に受け止めるものの、不当・悪質なカスハラに対しては毅然と対応し、市の職員が安心して働ける職場環境を整えていきたいという答弁がありました。（この質問は翌日の市民タイムスに掲載されました）



2

いじめ反対の国際キャンペーン「ピンクシャツデー」への参加を

「ピンクシャツデー」は、カナダの高校生から始まったいじめ反対の国際キャンペーン。日本では2月の最終水曜日に、趣旨に賛同する団体や個人が、ピンクシャツやピンクのものを身に着けて意思表示しています。（矢沢も参加しています）

世界で約180の国と地域に展開され、神奈川県横須賀市や大阪府八尾市など自治体も参加しており、安曇野市も参加することを提案しました。

市長から、大人社会でのハラスメントも含め、いじめをなくして、思いやりのある温かな社会づくりを目指すこと、市広報紙やイベントを通じてキャンペーン参加のきっかけづくりを考えていきたいと答弁がありました。



3

マタニティタクシー事業の助成について

安心して子どもを産める環境づくりのために、マタニティタクシー事業、妊婦のタクシー利用への助成を提案しました。市は、現在は考えていないとのことでしたが、引き続き安心して妊娠、出産ができる体制整備を進めていくとの答弁でした。



4

市民に身近な公共・公的施設に

多くの人が集い、行き交う公共・公的施設にし、市政を身近に感じてもらいたい。そのために、議場コンサートや議場ウェディング、市役所での矯正展や市民ギャラリー開催などを提案しました。安曇野市議会の議場は木材の意匠も素晴らしく、コンサートやウェディングでの利用について、議会と相談していきたい旨の答弁がありました。

5

安心安全なまちづくり(新田中交差点、県道495号線、踏切について)

地域の皆様からいただく声をもとに、下記について質問しました。（→以降は市の答弁）

○新田中交差点改良工事の現状について

○市道豊科1082号の整備 → 用地取得に課題があるとのこと。

○豊科1062号、1574号のスピード抑制策 → 地元要望があれば県警と相談。

○県道495号、横断報道帯や横断指導線の設置 → 地元要望があれば県警と相談。

○新田神社南側への防犯灯設置について → 電柱がないため困難

○豊科駅北側の渋滞対策（立体化や踏切のタイミング改善）→ 道路管理者である県やJRと意見交換

○遮断機や踏切警報器がない踏切について → 市内に6か所ある。JRに対して安全対策を講じるよう改善要望を提出することを検討

